

東洋ガスメーター株式会社

2017年12月1日

LP ガス用超音波ガスメーター保安標準モデル 発売のお知らせ

東洋ガスメーター株式会社(本社：富山県射水市、代表取締役社長：水越靖)は、更なる保安の高度化実現の為、LPガス用超音波ガスメーターに器具識別機能を内蔵した『ETG25MTH』、『ETG4MTH』の2器種を、保安標準モデルとして位置付け、発売いたします。

平成27年に器具識別保安機能を追加して改訂された技術基準に対応したガスメーターを、東洋ガスメーターでは「保安標準モデル」と称し、今後、LPガスメーターが保有すべき標準機能として位置付け、ガス販売事業者様のさらなる保安の高度化に対応しました。



E型保安ガスメーター 超音波ガスメーター (写真：ETG25MTH-M)

【保安標準モデルの機能ポイント】

1. 「器具識別機能」による保安の高度化

ガス流量の変化を監視する事で、ファンヒータと給湯器の使用を、メーターが自動的に推定する機能です。

本機能によって、季節の変わり目に発生しやすい不要遮断を減らすことができ、ガスが遮断したことによるお客様へのご迷惑を回避し、且つ、遮断したことによる電話対応や現場対応を減らし、業務効率の改善につながります。

2. 「漏洩確認機能」による漏洩検査サポート

復帰ボタンの操作により、流量式・圧力式の微少漏洩日数が液晶表示で確認できます。また、所定時間の平均流量や圧力降下量をメーターの液晶に表示することも可能です。本機能によって、微少漏洩警告が表示した際に、特別な装置が無くても「漏洩場所の切り分け」や「漏洩量の推定」を行い、効率的な漏洩検査が可能になります。

3. 「遮断時補助機能」による迅速な現場対応

メーター遮断時に、遮断原因に応じた遮断詳細値をLCDに表示します。『A・B・C・R・P』の表示だけでは区別できなかった遮断内容が区別でき、遮断原因の究明・対処やお客様への説明等が迅速に行えます。

4. 「可視光通信機能『スマピタ』」による検針業務の効率化、情報の見える化

メーターのLEDランプの点滅を専用のリーダーで読み取る事で、メーターの内部情報を読み込む機能です。

指針値や個別積算値だけでなく、ロードサーベイデータやメーターの状態、及び過去の遮断履歴(10回分まで)などの情報を簡単に取得する事ができます。(来春サービス提供予定)

5. 「器具識別機能」による個別積算

ファンヒータと給湯器の使用を推定する器具識別機能により、本器具で使われたガス量を、個別積算カウンタに積算します。

【メーカー発売日】

12月より発売します。詳細は弊社営業担当にお問い合わせ下さい。

以上